

令和5年度第1回利根沼田地域保健医療対策協議会 議事概要

1 日 時 令和5年8月22日（火）17時00分～18時00分

2 場 所 利根沼田振興局庁舎1階101会議室

3 出席者 委員16名（出席者は別紙のとおり）

4 概 要

（1）開会（進行：利根沼田保健福祉事務所企画福祉課長）

ア 委員の出席状況報告等

○欠席委員→みなかみ町長、沼田利根薬剤師会長、全国健康保険協会群馬支部業務部長、
利根沼田広域消防本部消防長

（以上4名が欠席。なお、みなかみ町長及び広域消防本部消防長については、代理出席あり）

○新任委員の紹介→群馬県看護協会沼田支部長

○出席の地域医療構想アドバイザー（2名：県医師会理事、群大附属病院特別教授）の紹介

（2）あいさつ（利根沼田保健福祉事務所長）

（3）会長・副会長の選出

- ・出席委員の互選により、会長は沼田市長、副会長は沼田利根医師会長を選出
- ・会長（沼田市長）就任あいさつ
- ・副会長（沼田利根医師会長）就任あいさつ

（4）議事（進行：協議会長）

ア 第9次群馬県保健医療計画について（資料1-1、資料1-2により、事務局から説明）

【質疑等】

●委員

・医師確保について、利根沼田地域も医師が少ない現状であるが、何か具体的な施策はあるか。

●事務局

・医師確保は、県の医療施策の中でも、最も重要なものの1つとして注力している。

・群馬大学とも連携し、地域医療枠を活用し県内のへき地や医師不在地域で活動意向のある若者の育成や、各病院のPR動画作成など、地道な取組みにより徐々に結果が現れてきている。このような取組については、計画にも反映させていきたい。

<アドバイザーよりコメント>

●アドバイザー

・2025年に団塊世代が75歳になり、後期高齢者が増加していくなか、広大な面積を抱える利根沼田地域は、その中で外来医療や、機能・重点医療をどうしていくかが課題である。

・遠隔医療について、吾妻地域では県のモデル事業が取り組まれているが、この地域においてはどのように取り組んでいくべきか。

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって色々なことが見えた。
- ・地域包括ケアシステムの中で医療と介護と福祉がどのように連携していくか。現行及び次期保健医療計画、そして地域医療構想を踏まえて、地域のなかで活発に検討していただきたい。

●アドバイザー

- ・医師確保については、県内全体の医師を増やしていくことが必要。
- ・群大病院としても、研修医の処遇改善等により、県に残ってもらう取組も行っており、最終的に県内に定着してもらうことが重要と考えている。
- ・医師の地域偏在、診療科偏在という問題については、「地域医療枠」の話もあったが、まだ現実的には繋がらないところもあり、卒業生への働きかけや、入学後早い段階から「地域医療」に触れる機会を提供することが大切である。
- ・利根沼田地域の医療機関にも、セミナー等で学生がお世話になっており、そういうなかで良い刺激を受け、卒業後も地域で臨床を行う方向に繋げていきたい。地道な取組だが、非常に大切と考えているので、今後も当地域で学生が実習を受ける際にはご指導願いたい。

イ 第9次群馬県保健医療計画について（資料2により、事務局から説明）

【質疑等】

●委員

- ・県のデータでは、救急医療関係の目標が未達成とのことであるが、利根沼田地域では、改善されていると認識している。実際のところはどうか。

●委員

- ・利根沼田地域は、管内での収容率が県内でも一番高く、自己完結していることが特徴と言える。収容依頼も一回で90%以上決まることが多く、各病院の協力により救急はうまくいっていると考えられる。
- ・県の平均時間は目標36分だが、統合型医療システム上では、平均時間はずっと40分を超えており、現場では目標値が厳しいのではないかと考えている。
- ・コロナの影響により、出動や疾患観察に時間を要することはあるが、収容先の決定自体は上手くいっていると考えている。

●委員

- ・消防からの説明に若干補足すると、1・2回の収容要請で9割以上が決まっているので、この二次保健医療圏でほぼ完結していると言える。
- ・一方、広大な面積を有するこの地域では、場所によって搬送距離が長くなり、搬送時間に係る指標は厳しいところもある。

<アドバイザーよりコメント>

●アドバイザー

- ・全く視点を変えた話となるが、少子高齢化で高齢者が多くなってきて、この30年間で認知症の介護の世界が変化し、いわゆる「パーソン・センタード・ケア」の考え方へシフトした。
- ・そこで心配しているのが、医療提供側の「専門」という「意識障害」への対応である。医療と介護は一体化しているが、医療現場でどの程度対応できるのかが今後の課題と考える。

●委員

・今、医療と介護が一体化してグラデーションになってきて、医療だけ・介護だけを必要とする方が少なくなっており、複数疾患を有して、医療も介護も必要という方が多くなっていることが大変問題になっている。

・このような状況から、地域医療構想は、介護の構想と併せて検討し、オーバーベッドや働き手不足が生じるなどの齟齬のないように、みんなで考えていかねばならないと現場として強く危機感を持っている。その辺りも委員の皆様と共有させていただきたい。

(5) その他

ア 第9期介護保険事業支援(計画)策定スケジュールの予定(参考1により、事務局から説明)

イ 引き続き開催の病院等機能部会での議題「紹介受診重点医療機関」選定に係る、書面での意見照会依頼

(6) 開会

〔以上〕